



京都 YWCA

11 2023



古都に咲いて100年

京都 YWCA 創立 100 周年記念式典を終えて

9月23日、京都ブライトンホテルにて京都 YWCA 創立 100 周年記念式典が開催されました。102 名の会場参加者、10 名のオンライン参加者とともに、設立から今日までを振り返り、これからの 100 年に向けて思いを馳せる日となりました。

オープニングは今年で活動 26 年目となるエコ・ド・Y のコーラス。101 歳のメンバーも加わり、この日のために練習を重ねてこられた熟練の歌声で幕が上がりました。

日本基督教団洛南教会の井上勇一牧師は開会礼拝で、京都 YWCA が設立された 1923 年は、5 年前に起きた米騒動の影響で社会全体が騒然としていた時代であり、その中で「地の塩」「世の光」（マタイによる福音書第 5 章 13～14 節）となろうとして心躍り武者震いするような気持ちで発足したであろうと話されました。



開会礼拝をされる井上勇一牧師

これからますます多様性が重要になる社会に応じつつ、原点の熱い心に立ち返っていくことが求められており、それを期待するという励ましをいただきました。

京都 YWCA の上村兪巳子代表理事の挨拶に続き、日本 YWCA の藤谷佐斗子会長は、京都 YWCA が 2019 年に南アフリカでの世界 YWCA 総会に 4 人の若い女性を派遣したことに触れ、若い女性をエンパワーする働きをこれからも願っているという祝辞をいただきました。

100 年の歴史を振り返る映像や、過去の会員や現在の活動グループからのビデオメッセージ、またオンライン参加者からのお祝いの言葉が流され、歓談の時間には、それぞれのテーブルで参加者同士が和やかに交

流する姿が見られました。式典後半には赤尾陽子さんのピアノ、ゲストによるバイオリン、チェロによる演奏があり、圧巻のメンデルスゾーンのピアノ三重奏曲に会場は聴き入りました。

原点の志を未来へ引き継ぐ

京都 YWCA の別所加恵会長の閉会挨拶での、YWCA は「より良いことをしたいと願う人の集まり」であるという言葉は、参加者の心に響いたに違いありません。

最後に、京都 YWCA を 15 年間牽引してきた山本知恵総幹事が紹介されましたが、逆に山本総幹事が 100 周年記念実行委員会のメンバーの労をねぎらうという、その人柄が偲ばれる場面がありました。かつて活動に参加していた会員や職員が旧交を温める姿もあちこちで見受けられました。

この日のために駆け付けてくださった皆さまに、更にわたしたちの活動を支え見守ってくださっている多くの皆さまに心から御礼を申し上げます。

これから続く 100 年も、「より良いことをしようとする人々」によって紡がれ、「地の塩」「世の光」であろうとする志を引き継いでいきたいと思います。

(編集部)



熱演に思わずアンコールを
したくなりました



各テーブルで歓談が続きました



釧路 YWCA 訪問の旅



京都 YWCA100 周年を記念して、10 月 6 日～9 日、3 泊 4 日の「釧路 YWCA 訪問の旅」を行った。100 周年という節目に当たり、YWCA の活動の原点を振り返ってみたいと思い、職員と会館を持たない YWCA を訪問しようと企画した。

関西国際空港から釧路へ。2 日目は 3 グループに分かれて阿寒湖、湿原散策、塘路を堪能し、夕方から釧路 YWCA との交流を行った。3 日目は摩周湖、屈斜路湖、美幌峠を巡って大自然を満喫した後、網走へ。4 日目は博物館網走監獄、オホーツク流水館を訪ねた。

釧路 YWCA は会員数 10 名余りで、会館を持たず職員もいない YWCA であるが、食材等の無料配布プロジェクト「わかちあい釧路」や平和、環境問題、異文化交流、ルバーブジャムづくりなど多岐にわたる活動を続け 50 年になることに驚かされた。人数が少ないので、すぐに決定し、行動に移せる身軽さがあり、続けるのも止めるのも自分たち次第ということだった。これこそが初期 YWCA の姿だったのではないかと思った。

この旅に参加された同じく小規模な静岡 YWCA の 2 名の方たちからもお話が聞けた。釧路 YWCA の方の準備と心遣いのお陰で楽しく実りある旅だった。これからも交流を続けていけたらと思う。(安藤いづみ)



釧路湿原を見下ろす細岡展望台にて



各所でおいしいソフトクリームを味わう



霧じゃない摩周湖の景観

標茶町塘路訪問

強風により残念ながら釧路湿原でのカヌー中止となった 9 人組。ですが予定通り、和商市場で各自が好きな海鮮をのっける「勝手丼」を手に入れて、観光列車ノロッコ号に乗り込み、湿原を抜けて標茶町塘路（しべちやちょう・とうろ）へ向かいました。塘路では釧路 YWCA の方に博物館「ニタイ・ト」と隣接する集治監（囚人を拘禁した施設）や旧駅通（旅人が馬を交換する施設）を案内していただき、町の歴史や自然、アイヌ文化を学びました。

そして塘路湖畔に足を運んだ後はトレッキングチームと美術館チームにわかれ、私はトレッキングへ。雨に濡れたミズナラやハルニレの間を抜けて到着した展望台からは湖と川、湿原と空が織りなす雄大な景色が広がっていました。皆の歓声と笑顔が溢れた 1 日でした。

(今井貴美江)



大自然の中でトレッキング

博物館網走監獄訪問

冬には海が流氷に覆われる町、網走。ここには日本の近代化の足跡の一つである網走監獄博物館がある。監獄は明治初期に創設されたが、収監者は旧幕府軍などの「政治犯」も多かったという。彼らは北海道開拓の工事に駆り出されて死亡した。一方で、監獄によって町が発展したという事実も語られていた。歴史の皮肉に思わず憤りを覚えたが、功罪の恵みを今自分は享受しているという事実が私の口をつぐませた。

監獄と網走の重苦しい歴史を肌身で感じながら博物館を回っていたが、ふと見上げた先に広がっていた輝かしい瓦屋根の擬洋風建築と、鮮やかに色づき始めた網走の木々の織りなす景色の美しさに、目眩がするほどの感動を覚えたのは生涯忘れ得ない体験となるだろう。

(片岡英子)



博物館前網走監獄にて

シリーズ——日本語でつなぐ笑顔と笑顔 (5) ～にほんご教室「洛楽」～

言葉を学ぶこと、教えること

言葉とはなにか

「何かをことばにする」という作業、そして、生活の中にあることばの役割とは何なのでしょう。それは、私たちが生きるということと深くかかわっているのではないかと感じ、思うことが多くなってきました。

ことばが「こと」を定義しますが、そこに感情と価値観が関わっていきそうです。私たちは、日本語の規則性も用法も、おそらく深く意識せずに使っています。それゆえに、自分の使っている言語に対する振り返りが必要で

す。「日本語」に関わり始めて15年ばかりが過ぎました。テキストを作る時、Can-do（日本語の熟達度の指標）と文法をどう合わせて考えるのか、移住外国人のサバイバルツールとしての日本語には、何が大事に煩悶する日々でした。

入門クラスの指導には、無条件に覚えてほしい知識、それを運用する日本文構成の基礎があると考えています。具象から抽象へ思考を積み上げていく方法がいいかなとも考えています。

生活の中での日本語は「使えてなんぼ」の世界です。



京都YWCAにほんご教室洛楽

どういえば話が通じるかという技を伝え鍛えるのは、指導者側の課題です。そして、それが学習者に期待するスキルであり、語彙のまだまだ少ない初級学習者の背中を押す力になると思うのです。

私自身は語学が苦手で、耳もよくありません。ですから、成人してから外国に来て、新しいことば・文字を学ぼうと努力し、会話を身に付けていける学習者は「すごい」と、常々感動しています。

今日学習したことを、教室を出てから使ってみようと思い、「通じた」喜びを味わう体験を重ねてもらえれば、教師冥利に尽きます。

そんな流れを、入門クラスでも作っていくことを目指しています。クラスみなさんは、楽しんでくださっているでしょうか。

(内田 匡子)



火曜日 入門クラス授業風景

京都 YWCA 設立 100 周年記念シンポジウム

「排除無く、誰もが花咲く社会
～多世代・多文化ふれあいコミュニティの実現～」

20代でフローリストとして起業し、障害者雇用にも取り組む福寿満希さんをお迎えしてシンポジウムを行います。

京都 YWCA が実施している若い女性の自立援助、若者の就労支援、滞日外国人のサポート、ジェンダー平等を目指すユースの取り組みも紹介し、誰もが花咲く、多世代・多文化ふれあいコミュニティを実現するため、次の100年に向けての提言を発信します。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

日 時 2024年1月27日(土)
13:00～16:30(開場 12:30)
会 場 京都市男女共同参画センター
ウィングス京都 2階イベントホール
参加費 一般 1,000円 30歳以下 無料
保育有(無料 要申込)
共 催 公益財団法人京都市男女共同参画推進協会



講師の福寿満希さん

京都 YWCA100 周年記念誌

『古都に咲いて100年』を発行しました

9月に100周年記念誌『古都に咲いて100年——女性の視点から社会の変革をめざした歴史を未来につなぐ——』を発行しました。100年の歴史を概観するとともに、京都 YWCA の事業・活動を大きく5つの分野に分けて紹介しています。さらに、これらを支える事業や組織運営についても触れ、未来を展望する座談会も掲載しました。活動に関わった方々のコラムや写真などを豊富に盛り込み、読み

物としても興味をもって読んでいただけたと思います。

本記念誌を通じて、京都 YWCA を多くの方に知っていただくことを願っています。また、次の時代を担う人々にとっても何らかのヒントを提供するものであれば幸いです。



頒価 1,000円

(本誌ご希望の方は京都 YWCA 事務局までご連絡ください。)

今後のプログラム

◎あきまつり

毎年恒例の子どももおとなも楽しめるプログラム満載のお祭りです！
詳細は京都 YWCA の HP、チラシをご覧ください。
お待ちしております。

- 日 時：2023 年 11 月 12 日（日）13:00
13:30～16:30 まで 開場 13:00
■料 金：親子（おとな 1・こども 1）1,000 円
こども 1 人 500 円、おとな 1 人 700 円
1 歳未満は無料



◎子育ておはなしかい

子どもを育てている「わたし」が感じているいろいろな思いを分かち合っ、みんなで元気になりましょう！

- 日 時：2023 年 12 月 9 日（土）13:00～14:30
■参加費：500 円（茶菓つき）
■ゲスト：室 紀子さん（臨床発達心理士、公認心理師）
■保 育：お子さまを別室でお預かりします（12/2 までに要申込）

◎京都 YWCA クリスマス集会

- 今だからこそ心を合わせて平和を共に祈りませんか。
■日 時：2023 年 12 月 16 日（土）15:00～16:30
■参加費：500 円（茶菓つき）
■内 容：礼拝 大橋茉莉耶牧師（日本基督教団茨木教会）
エコ・ド・Y のコーラス、音楽と物語

◎サマリア館がすっかり綺麗になりました！

内部の壁は漆喰塗装で見違えるようにきれいになり、照明器具は明るくお洒落に、玄関の木枠は塗り替えられました。



ご寄付ありがとうございました

2023年8月1日から9月30日 寄付者一覧（敬称略、順不同）

各指定寄付

*法人支援

森雄二郎、匿名

*100 周年記念募金

中務裕之、河合 Drury 由美子、安藤いづみ、
安藤幸枝、平城智恵子、佐伯昌和、
井上勇一、尾崎裕美子、原田みな美、
日本キリスト教団洛南教会、
斉藤大輔、公財）京都 YMCA、
公財）日本 YWCA、公財）名古屋 YWCA、
公財）大阪 YWCA、公財）神戸 YWCA、
一財）広島 YWCA、匿名

*親・子育て支援活動委員会

京都家庭文庫地域文庫連絡会

*多文化共生委員会

一色光世

*APT

吉本和穂、神門佐千子、内田裕子、
鈴木武明、北山英太、田中順子、
大手理絵、匿名

*あじさい保育園

安藤昌人

*自立援助ホーム「カルーナ」

近野玲子、柳原亜木、今村武廣、
近藤八津子

*賛助費

臼井一美

サマリア館補修 クラウドファンディング第 2 弾が 目標を達成し、終了することが できました！



実施期間：2023 年 7 月 10 日～9 月 30 日
達成 額：1,869,000 円（第 1 次目標 150 万円）
支援者数：72 名

京都 YWCA が取り組む『誰ひとり取り残さないための居場所「セーフスペース」事業』のための、サマリア館補修に向けて、多くの方の応援とご支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

*寄付者名（順不同、敬称略）

平野富希、木下和江、上村愈巳子、柴田道子、津戸眞弓、堀部碧、
鍛冶富美子、家頭昌子、高橋美子、近野玲子、春永睦月、白川啓子、
塚本宏子、迫田雅代、井上富子、篠田茜、小林聡、中野加奈子、
有田孝子、逸見素子、江崎啓子、平野裕之、下村泰子、一色吉次、
河野伴子、上村達郎、別所加恵、近藤純弘、井上依子、
プロバスクラブ京都きらけい会一同、大塚真理子、上村剛士、
新幸枝、高島正博、泉谷直木、浅井省二、織田雪江、中務裕之、
清塚典子、宮本健吾、川勝智子、中川美佳子、筒井奈都子、平野晴美、
寺田有古、上田理恵子、岡田優子、秋本英理、仲西慶児、鹿野幸枝、
三木みや子、三谷啓子、谷川竜一、弘中奈都子、岡佑里子、御前明美、
御前隆、河野武幸、京都サンダー株式会社代表取締役 新井恭子、
匿名 13 名

9・10月／理事会報告

- 9/16：サマリア館補修工事完了
- 9/30：サマリア館補修クラウドファンディング第 2 弾終了（9 月 1 日付の京都新聞朝刊に紹介された）
- 9/20：高齢者住宅「サラム」居住者があじさい保育園園児の誕生会に参加
- 京都 YWCA100 周年記念誌『古都に咲いて 100 年』発行（本誌 3 面参照）

- 9/23：京都 YWCA100 周年記念式典を京都ブライトンホテルにて実施（本誌 1 面参照）
- 10/6-10/9：100 周年記念旅行（北海道旅行）実施（本誌 2 面参照）
- 10/22：第 8 回京都 YWCA あじさいプロギング～秋の特別編～
- 10/28：「地球にやさしい人とのをつなぐプチマルシェ」開催

KYOTO YWCA No.577 2023 年 11 月号（11月1日発行）

発行人：上村愈巳子
発行所：公益財団法人京都 YWCA
〒602-8019
京都市上京区室町通水上ル近衛町44

電 話：(075) 431-0351
F A X：(075) 431-0352
e-mail：office@kyoto.ywca.or.jp
H P：http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替：01080-9-1566
口座名義：（公財）京都 YWCA
定 価：1 部 50 円
発 行：奇数月 1 日発行